

人文科学分野の調査ツールの紹介と実習

国立国会図書館利用者サービス部人文課
人文第二係長 大沼宜規 Yoshiki ONUMA

はじめに

1. 人文科学系レファレンスツール使用時の留意点

(1) ツール整備が進んでいない分野・切り口

冊子体・データベースともツール整備が進んでいない分野

整備されたツールの切り口が限られている分野

- ・現代文化 漫画(別添資料(1))、アニメ(別添資料(2))
- ・日本史 網羅的な論文検索ツールはない。

⇒リサーチ・ナビ「日本史に関する文献を探すには(主題書誌)」

http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-266.php

- ・落語(別添資料(3)) 文学史・芸能史・言語学など多岐にわたる。

(2) 冊子版と電子版・データベース

冊子体(またはその補遺を加えて)を電子化したものが少なくない。

冊子版廃刊の傾向も見える。⇒使い分けが大事

○冊子体を電子化した例(及び補遺)

- ・日本古典籍総合目録(国文学研究資料館) <http://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/about.html>

←『国書総目録』・『日本古典籍総合目録』

- ・大日本史料総合データベース(東京大学史料編纂所)

<http://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/shipscontroller>

(東京大学史料編纂所>データベース検索>データベース選択画面)

←『大日本史料』・『史料綜覧』

- ・岩崎文庫和漢書目録検索(東洋文庫)

http://61.197.194.9/Database/IWASAKI_QueryInput_3.html

←『岩崎文庫和漢書目録』

○冊子版が廃刊された例

- ・『日本全国書誌』、『国文学年鑑』、『国語年鑑』等

○データベース刊行後冊子体が刊行された例

西沢淳男『幕領陣屋と代官支配』岩田書院 1998 附属 CD

→西沢淳男『江戸幕府代官履歴辞典』岩田書院 2001

(3) 雑誌・科学研究費報告書・小出版や自費出版によるツール、個人ホームページ

小規模だが有用ツールが少なくない。

○雑誌に収載された記事

- ・鈴木俊幸「近世書籍研究文献目録」(『書籍文化史』年刊)
*鈴木俊幸『近世書籍研究文献目録』増補改訂(ペリカン社2007)としてまとめられたが、その後も補遺されている。NDL-OPAC(国立国会図書館)の雑誌記事索引に採録されていない。
- ・青木一平「安倍能成関係史料の全体像 愛媛県生涯学習センター所蔵史料を中心として」(『近代史料研究』9~10 日本近代史研究会2009~2010)
*愛媛県生涯学習センター所蔵の安倍能成関係史料の目録を付す。

○科研費報告書等

- ・井上智勝「大阪歴史博物館所蔵羽間文庫古典籍・古文書目録」(鈴木一義・国立科学博物館『羽間文庫資料の調査・分類と近代科学受容の研究』[鈴木一義]2002-2005)

○小出版・自費出版

- ・大鹿久義『稿本伴信友著撰書目』温故學會2003
- ・高橋良政『上越市立高田図書館古書目録』高橋良政2005

○個人ホームページ

- ・菊池眞一研究室 <http://www.kikuchi2.com/index.html>
- ・近世初期文芸研究会 <http://ksskbg.com/index.html> 「仮名草子研究文献目録」

(4) 息が長いツールが多い。

- ・『古事類苑』吉川弘文館1999 *編纂は1879~1907。1896~1903刊行
- ・吉田東伍『大日本地名辞書』増補版 富山房1969 *1900~1907刊行

(5) 収録範囲の確認が必要。

- ・国立国会図書館サーチ(旧総合目録ネットワークシステム) <http://iss.ndl.go.jp/>
*「全国の都道府県立図書館・政令市立中央図書館・国立国会図書館の所蔵する和図書」
- ・CiNii Books(国立情報学研究所) <http://ci.nii.ac.jp/books/>
*所蔵機関ごとに入力資料に特徴 例:早稲田大学:図書は入力せず。雑誌のみ。
「参加館別所蔵登録累計件数一覧(雑誌含む)(平成22年度末)」による
http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/cat/database/h22/c_fa.html
- ・『寛政重修諸家譜』新訂 続群書類従完成会1964-1967 26冊
*寛政10年(1798)迄。徳川幕府の御目見以上の家臣。断絶した家は掲載されない。

(6) 多様なツールを確認する事が望まれる 事例参照

(7) 出版者と編著者

2. ツールと事例

(1) 簡易な事実を調べる

○事実の概略を調べる

<事例1> 賢聖障子とはなにか? また、古文献にどのように登場するか。

◇百科事典

- ・『日本大百科全書』2版 小学館 1994
⇒JapanKnowledge+ (<http://www.jkn21.com/top/corpdisplay> 有料データベース)
- ・『世界大百科事典』2007年改訂新版 平凡社 [2007]
(参考) 『Kodansha encyclopedia of Japan』Kodansha 1983-1986 (10冊)

◇百科事典 (古事類苑と広文庫)

- ・『古事類苑』(吉川弘文館 1999) ⇒部分的にデータベース化 (別添資料 (4))。
(参考) 倉本一宏 『古事類苑新仮名索引』吉川弘文館 2010
- ・物集高見, 物集高量 『^{もずめ}広^{こうぶんこ}文庫』名著普及会 1976-77

○人物について調べる

<事例2> 屋代弘賢とはどういう人物か。

◇いろいろな人名辞典

- ・『日本人名大事典』平凡社 1979 7冊
- ・上田正昭 『日本人名大辞典』講談社 2001 1冊 (CD添付)
- ・市古貞次 『国書人名辞典』岩波書店 1993-1999 5冊
- ・國學院大學日本文化研究所 『和学者総覧』汲古書院 1990 1冊
- ・長沢孝三 『漢文学者総覧』改訂増補 汲古書院 2011
- ・石山洋 『江戸文人辞典』東京堂出版 1996
- ・上田萬年, 芳賀矢一[他] 『国学者伝記集成』復刻 東出版 1997
- ・小川恭一 『寛政譜以降旗本家百科事典』東洋書林 1997-98
(参考) 公家 正宗敦夫 『諸家伝』自治日報社 1968 3冊
三上景文[他] 『地下家伝』自治日報社 1968 3冊
大名 藩主人名事典編纂委員会 『三百藩藩主人名事典』新人物往来社 1986-87 4冊
旗本 『寛政重修諸家譜』新訂 続群書類従完成会 1964-1967 26冊
商人 田中康雄 『江戸商家・商人名データ総覧』柊風舎 2010
洋学者 武内博 『日本洋学人名事典』柏書房 1994
明治以降 大植四郎 『明治過去帳』新訂(東京美術、1988)
稲村徹元, 井門寛, 丸山信 『大正過去帳』(東京美術、1973)

◇分野別の辞典の例

- ・『国史大辞典』吉川弘文館 1979-97 17冊

⇒JapanKnowledge+ (<http://www.jkn21.com/top/corpdisplay> 有料データベース)

(参考)加藤友康,瀬野精一郎,鳥海靖,丸山雍成『日本史総合年表』第2版 吉川弘文館 2005

- ・『日本史大事典』 平凡社 1992-94 7冊
- ・国学院大学日本文化研究所『神道事典』弘文堂 1994
- ・『日本古典文学大辞典』岩波書店 1983-85 6冊
- ・井上宗雄他編『日本古典籍書誌学辞典』岩波書店 1999
- ・Norman Havens and Inoue Nobutaka ; translated by Norman Havens 『An Encyclopedia of Shinto = Shinto jiten』 Institute for Japanese Culture and Classics, Kokugakuin University c2001 3冊

⇒そのほか、付録「レファレンス・ツール紹介(人文系)」を参照のこと。

(参考)太田為三郎『日本随筆索引』〔正(増訂版)〕続 岩波書店 1963

〔正〕:近代デジタルライブラリー(国立国会図書館) <http://kindai.ndl.go.jp/>

◇人物文献目録

⇒調べ方案内「人物文献(伝記など)を探す(日本)」(国立国会図書館リサーチ・ナビ)

http://rnaui.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-101121.php

- ・法政大学文学部史学研究室『日本人物文献目録』平凡社 1993

<事例3>北村三郎(『印度史:附・朝鮮,安南,緬甸,暹羅各国史』『日耳曼史』などの著者)の経歴を知りたい。紫山居士とも言う。

◇人名索引

- ・日外アソシエーツ編集部『人物レファレンス事典』新訂増補 日外アソシエーツ 1996-2010 10冊

「古代・中世・近世編」「明治・大正・昭和(戦前)編」「昭和(戦後)編・平成編」等

- ・日本人名情報索引(人文分野)データベース(国立国会図書館リサーチ・ナビ)

<http://rnaui.ndl.go.jp/jinmei/>

○文字や言葉について調べる

◇大規模な国語辞典・漢和辞典

- ・『日本国語大辞典』第2版 小学館 2000-02 14冊

⇒JapanKnowledge+ (<http://www.jkn21.com/top/corpdisplay> 有料データベース)

- ・鎌田正,米山寅太郎修訂 諸橋轍次著『大漢和辞典』修訂第2版 大修館書店 1989-2000 15冊

◇江戸時代のことば・古文書のことば

- ・穎原退蔵[他]『江戸時代語辞典』角川学芸出版 2008
- ・前田勇『江戸語大辞典』新装版 講談社 2003
- ・大久保忠国,木下和子『江戸語辞典』東京堂出版 1991
- ・林英夫[他]『古文書用語大辞典』新人物往来社 2006

・秋山高志『基礎古文書のことば』3訂版 柏書房 2002

◇明治時代のことば

・佐藤亨『現代に生きる幕末・明治初期漢語辞典』明治書院 2007

・惣郷正明, 飛田良文『明治のことば辞典』東京堂出版 1986

・大槻文彦『言海』筑摩書房 2004

・落合直文[他]『言泉』日本図書センター 1981

◇当て字の辞典

・宛字外来語辞典編集委員会『宛字外来語辞典』新装版 柏書房 1997

・有澤玲『宛字書きかた辞典』柏書房 2000

・東京堂出版編集部『当て字の辞典』新装版 東京堂出版 2009

◇難訓

・井上頼圀『難訓辞典』日本図書センター 1979

・井上辰雄[他]『日本難訓難語大辞典』遊子館 2007

<事例4>日本の漢文の書き下し文に、「而＝」とあるが、なんと読むのか。(＝は「メ」の第2画が斜線の上のみで突き抜けていない。yのように一画めと二画目交差しない形)

◇異体字 ⇒くずし字は「2 (5) 古典籍に関する参考資料など」参照

・菅原義三『国字の字典』東京堂出版 1993

・佐藤喜代治『漢字百科大事典』明治書院 1996

・日外アソシエーツ編集部『漢字異体字典』日外アソシエーツ 1994

・石川忠久[他]『今昔文字鏡』紀伊國屋書店 2006 (CD)

○そのほか、近年刊行の参考図書の例

⇒別添資料(5)参照。

○よくある質問の調べ方

調べ案内(国立国会図書館リサーチ・ナビ) http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/

(2) 文献を探す(図書・雑誌)

○主要な学問分野の主題書誌

<事例5>図書館学に関する文献を探したい。

⇒調べ案内(国立国会図書館リサーチ・ナビ)

「総記分野(ジャーナリズム、出版、図書館等)に関する文献を探すには(主題書誌)」

http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/post-133.php

◇総合的な文献の調べ方

「総合的な雑誌記事(和文)の検索ツール(人文・総記分野)」

http://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-100053.php

◇人文関係の主要分野の文献探索方法⇒別添資料(6)

「リサーチ・ナビ調べ案内に掲載されている日本関係主題書誌検索法」参照。

○小規模な主題別書誌・特定雑誌の文献目録

⇒主要な関係学会などで作成していることも

<事例6> 茶の湯に関する最近の研究文献を探したい。

・「茶の湯関係文献目録」(茶の湯文化学会『茶の湯文化学』)

6号 pp.219-223、8号 pp.137-144、9号 pp.181-186、10号 pp.96-101、11号 pp.108-113、
 12号 pp.149-151、13号 pp.180-182、15号 pp.174-178、16号 pp.97-103、17号 pp.142-147、
 18号 pp.156-162

・ほかにたとえば、法制史(法制史学会)、修験道(日本山岳修験学会)なども
 (参考)学会名鑑 人文・社会科学(日本学術会議ほか)

<http://gakkai.jst.go.jp/gakkai/control/toppage.jsp#go20>

○一般雑誌や新聞の記事

<事例7> 古今亭志ん朝に関する雑誌や新聞の記事を探したい。

・『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』大宅壮一文庫 1985-97 28冊

・大宅壮一文庫雑誌記事索引検索 Web版 Web OYA-bunko

<http://www.oya-bunko.com/> (有料データベース)

⇒一般誌を対象とした雑誌記事索引

・ヨミダス歴史館(読売新聞、<http://www.yomiuri.co.jp/rekishikan/>)と^{まぐろ}聞蔵Ⅱビジュアル
 (朝日新聞、<http://database.asahi.com/library2/>) (ともに有料データベース)

⇒全文データベース

・国立国会図書館のデジタル化資料 雑誌 (<http://dl.ndl.go.jp/#magazines>)

⇒画像は館内限定。

(3) 特定の資料の所蔵機関を調べる

<事例8> 山本鼎の「義勇青年飛行家石橋勝浪君」が『武侠世界』5巻7号に掲載されているらしい。所蔵館を知りたい。

○総合目録の活用(全国規模)

	図書	雑誌	新聞	地域資料
江戸	日本古典籍総合目録			

以前	(参考)全国漢籍データベース			
明治以後	国立国会図書館サーチ (旧総合目録ネットワークシステム) / CiNii Books / WorldCat	『全国公共図書館逐次刊行物総合目録』 / CiNii Books / WorldCat	国立国会図書館サーチ (旧全国新聞総合目録DB) / CiNii Books / WorldCat	都道府県立図書館の横断検索など

WorldCat の URL : <http://www.worldcat.org/>

『全国公共図書館逐次刊行物総合目録』 国立国会図書館 1963-68

○雑誌・新聞

◇一般

- ・成田山仏教図書館 <http://naritasanlib.jp/>
- ・三康図書館 <http://lib-finder.net/sanko/servlet/Index?findtype=1>

◇ミニコミ関係

- ・立教大学共生社会研究センター <http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/RCCCS/>
 住民図書館『ミニコミ総目録』1992

◇文学関係

- ・日本近代文学館 <http://www.bungakukan.or.jp/>
 (参考) 日本近代文学館『日本近代文学大事典』第5巻 講談社 1977
- ・神奈川近代文学館資料検索システム <http://www.kanabun.or.jp/kensaku.html>
- ・昭和女子大学図書館 <http://www.lib.swu.ac.jp/mylimedio/search/search-input.do>
 (参考) 昭和女子大学近代文学研究室『近代文学研究叢書』昭和女子大学光葉会 昭和女子大学近代文化研究所 1956-2001
- ・日本現代詩歌文学館 <http://www.shiikabun.jp/>
- ・『捌書録』高橋新太郎文庫プロジェクト 2009
 学習院女子大学図書館高橋新太郎文庫
<http://www2.gwc.gakushuin.ac.jp/library/search/collection.html>
- ・区市町村立図書館 新聞雑誌総合目録 (東京都立図書館)
http://www.library.metro.tokyo.jp/search/news_mag/tabid/170/Default.aspx
- ・新聞ライブラリー <http://newspark.jp/library/index.html>
- ・東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター
<http://www.j.u-tokyo.ac.jp/lib/meiji/>
 (参考) 『東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧』大空社 1993-98 150冊
 (参考) 天野敬太郎[他]『雑誌新聞文献事典』金沢文圃閣 1999

<事例9>1922年に三越呉服店で開催された漫画の展覧会の目録(『第7回東京漫画展覧会目録』)の所蔵機関は?

○美術展覧会図録

- ・ALC 美術図書館横断検索 <http://alc.opac.jp/>

東京国立近代美術館、国立新美術館、東京都現代美術館、横浜美術館、国立西洋美術館
東京、東京都写真美術館、東京国立博物館、江戸東京博物館、神奈川県立近代美術館

- ・日外アソシエーツ株式会社(編),東京国立近代美術館,横浜美術館,国立西洋美術館,東京都写真美術館,東京国立博物館,東京都江戸東京博物館(監修)『展覧会カタログ総覧』日外アソシエーツ、紀伊國屋書店(発売)2009 2冊

○演劇

- ・早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 <http://www.waseda.jp/enpaku/>
- ・国立劇場図書室 蔵書検索 <http://www3.ntj.jac.go.jp/>
- ・松竹大谷図書館(OPACなし) <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

○地域資料(リンク集)

- ◇公共図書館(日本図書館協会) <http://www.jla.or.jp/link/link/tabid/172/Default.aspx>

- ◇公文書館(国立公文書館) <http://www.archives.go.jp/links/index.html>

○県立図書館等の例

- ◇東京都 東京都立図書館 <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

統合検索、区市町村立図書館 新聞雑誌総合目録ほか

- ◇茨城県 茨城県立図書館と茨城県立歴史館

茨城県立図書館 <http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/index.htm>

茨城県内図書館蔵書横断検索/茨城県立図書館デジタルライブラリー など

茨城県立歴史館 <http://www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp/>

資料検索 <http://www2.rekishikan.museum.ibk.ed.jp/>

- ◇秋田県 秋田県立図書館 <http://www.apl.pref.akita.jp/>

県内図書館資料横断検索/郷土関係雑誌記事索引/秋田県関係人物文献索引/秋田魁新報記事見出し検索/レファレンスデータベース /秋田県立図書館所蔵貴重資料(以下「デジタルライブラリー」)/郷土雑誌の紹介/秋田県内機関貴重資料/名勝案内による秋田の昔の旅/秋田県の民話(音声付)/秋田県のお祭り/秋田の人と本の紹介

○古典籍資料・歴史資料(近世以前)

- ◇宮内庁書陵部、静嘉堂文庫、大東急記念文庫、尊経閣文庫、無窮会専門図書館、岩瀬文庫、蓬左文庫、神宮文庫、天理大学天理図書館、杏雨書屋など

*ほかに電子図書館の例として挙げる機関は次章参照。

(参考) 岩瀬文庫 (<http://www.city.nishio.aichi.jp/nishio/kaforuda/40iwase/>)

古典籍書誌データベース (URL 省略)

(参考) 天理大学附属天理図書館『天理図書館稀書目録』和漢書之部 天理大学出版部
1940-2010 既刊 5 冊

◇マイクロフィルムが出版社から販売されている機関もある。

- ⇒・静嘉堂文庫：「物語文学書集成」(938点 4130冊) 「新収古典籍」(46点) 「歌学資料集成」(1133点 3192冊) 「古辞書集成」(361点 2137冊) 「国語学資料集成」(472点 769冊)
- ・大東急記念文庫：「古写古版物語文学総覧」(95点 695冊) 「江戸文学総覧」(878点 1530冊)
- ・蓬左文庫：「尾崎久弥コレクション」(1723点約 3400冊)

○所蔵機関を調べる為のツール

- ・専門図書館協議会事業推進委員会編『専門情報機関総覧』専門図書館協議会 紀伊國屋書店ホールセール部 (発売) 2009
- ・東京地図出版編集部『東京ブックナビ』東京地図出版 2009
- ・専門図書館ガイド (東京都立図書館) <http://metro.tokyo.opac.jp/tml/trui/>
- ・日外アソシエーツ編集部『個人文庫事典』日外アソシエーツ 2005
- ・地方史研究協議会『歴史資料保存機関総覧』増補改訂版 山川出版社 1990
- ・日本図書館協会『公共図書館の特別コレクション所蔵調査報告書』日本図書館協会 1997
- ・マティアス・コッホ(Koch, Matthias)『日本の大学所蔵特殊文庫解題目録 (Universitäre Sondersammlungen in Japan)』Iudicium Verlag 2004
- ・学習院大学史料館『旧華族家史料所在調査報告書』学習院大学史料館 1993

(4) 電子図書館で資料を読む

現在、全国で電子化が進められている。著作権法上の制約のない古典籍分野を中心に進展。

<事例 10> ^{きむらまさこと}木村正辞旧蔵の『日本感霊録』(国立国会図書館と大東急記念文庫に所蔵)を比較したい。まずは原資料でなくてよい。

○国立国会図書館

- ・近代デジタルライブラリー <http://kindai.ndl.go.jp/> 約 57 万冊 (館内提供 33 万冊)
- ・国立国会図書館のデジタル化資料 <http://dl.ndl.go.jp/>
古典籍 5 万冊、図書 21 万冊、雑誌 76.9 万冊 (図書と雑誌は国立国会図書館内での提供)
- ・「電子展示会」<http://www.ndl.go.jp/jp/gallery/index.html>
一部ではあるが、全頁画像を掲載する資料がある。

○早稲田大学

- ・古典籍総合データベース <http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/> 約30万冊搭載

＜事例11＞^{おやまだともきよ}小山田与清『相馬日記』を読みたい。

○そのほかの電子図書館の例(附:販売されている大規模なマイクロフィルム)

機関	電子図書館 / 販売されているマイクロフィルムの例
東北大学附属図書館	・東北大学デジタルコレクション http://dbr.library.tohoku.ac.jp/infolib/meta_pub/G9200001CROSS / 「狩野文庫マイクロ版集成」
茨城大学図書館	・菅文庫 http://www.ibaraki.ac.jp/siryu/kanbun/index.html
筑波大学附属図書館	・電子化資料 http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/portal/rare.php
国立歴史民俗博物館	・歴博画像データベース http://www.rekihaku.ac.jp/gallery/db_detail.html ・データベースれきはく http://www.rekihaku.ac.jp/database/index.html
東京国立博物館	・データベース(情報アーカイブ) http://webarchives.tnm.jp/archives/cat/database
東京大学附属図書館	・電子化コレクション http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/coll/index.html / 「霞亭文庫」(1159点,2032冊)「連歌俳諧書集成」(3674点)「本居文庫」(1990点約4000冊)
東京大学史料編纂所	・データベース選択画面 http://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/shipscontroller / 所蔵史料目録データベース「大日本維新史料稿本マイクロ版」「島津家文書マイクロ版集成」
東京学芸大学附属図書館	・デジタルアーカイブ学びと遊びの歴史 https://library.u-gakugei.ac.jp/digitalarchive/archivetop.html
國學院大學図書館	・デジタルアーカイブ貴重書・コレクション画像データ http://k-aiser.kokugakuin.ac.jp/digital/diglib.html
国文学研究資料館	・電子資料館 http://www.nijl.ac.jp/pages/database/
東京都立図書館	・貴重資料画像データベース http://metro.tokyo.opac.jp/tml/tpic/
早稲田大学演劇博物館	・デジタル・アーカイブ・コレクション http://www.enpaku.waseda.ac.jp/db/index.html / 「能狂言文献資料集成」(1000点4000冊)「役者評判記」(407点)
国立公文書館	・デジタルアーカイブ http://www.digital.archives.go.jp/index.html / 「江戸幕府刊行物集成」(295点)
東洋文庫	・画像・動画データベース http://61.197.194.13/gazou/index_img.html
京都大学図書館	・京都大学電子図書館 貴重資料画像 http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/index-s.html
大阪大学附属図書館	・赤木文庫—古浄瑠璃目録 http://ir.library.osaka-u.ac.jp/web/e-rare/akagi/
奈良女子大学	・奈良地域関連資料画像データベース、奈良女子大学所蔵資料電子画像集

附属図書館	http://www.lib.nara-wu.ac.jp/libhp/gzdb.html
阪本龍門文庫	・阪本龍門文庫善本電子画像集(奈良女子大学附属図書館 奈良地域関連画像データベース内) http://mahoroba.lib.nara-wu.ac.jp/y05/
九州大学附属図書館	・日本古典籍画像データベース http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002rare2

○テキストを提供するデータベース

- ・日本古典文学本文データベース(国文学研究資料館。現在システム移行中の為利用不可。4月新システム公開予定) http://base3.nijl.ac.jp/Rcgi-bin/hon_home.cgi
- ・青空文庫 <http://www.aozora.gr.jp/>
(参考) せんだい電子文庫(せんだいメディアテーク) <http://www.smt.jp/~ebook/>

○有料データベース

- ・Japan knowledge+ <http://www.jkn21.com/top/corpdisplay>
「東洋文庫」(平凡社)1~700巻 / 「新編日本古典文学全集」(小学館)中52作品 / Web版日本近代文学館(「太陽」「文芸倶楽部 明治篇」「第一高等学校 校友会雑誌」) / 『日本国語大辞典』『国史大辞典』『日本歴史地名大系』『字通』などのレファレンスツールも
(参考) 『角川日本地名大辞典』編纂委員会編 『角川日本地名大辞典』新版 角川学芸出版、角川グループパブリッシング(発売)2011(DVD)
- ・ヨミダス歴史館・聞蔵Ⅱビジュアル(前掲)

○参考(未使用)

- ・日本文学web図書館 <http://kjssystems.sakura.ne.jp/kotenlibrary/>
(有料データベース)
- ・Japanese Text Initiative(ピッツバーグ大学・バージニア大学)
<http://etext.virginia.edu/japanese/>

(5) 古典籍に関する参考図書など

○概説書(別添資料(7)も参照のこと)

- ・藤井隆『日本古典書誌学総説』和泉書院1991
pp.12~24に文献目録が掲載されている。

○辞書類(別添資料(7)も参照のこと)

- ・川瀬一馬『日本書誌学用語辞典』雄松堂書店1982
- ・長沢規矩也『図書学辞典』長沢規矩也先生喜寿記念会1995
- ・井上宗雄他編『日本古典籍書誌学辞典』岩波書店1999

○版元と出版目録

- ・井上隆明『近世書林板元總覽』改訂増補 青裳堂書店 1998
- ・日本浮世絵協会原色浮世絵大百科事典編集委員会『原色浮世絵大百科事典』第3巻(様式・彫摺・版元) 大修館書店 1982 第2巻は「浮世絵師」
- ・矢島玄亮『徳川時代出版者出版物集覧』徳川時代出版者出版物集覧刊行会(続は万葉堂書店) 1976 正統

<事例12>「陽春廬記」とは誰の蔵書印か。

○蔵書印譜など(別添資料(7)も参照のこと)

- ・渡辺守邦,島原泰雄『蔵書印提要』青裳堂書店 1985
- ・渡辺守邦,後藤憲二『新編蔵書印譜』青裳堂書店 2001
- ・中野三敏『近代蔵書印譜』青裳堂書店 1984-2007 5冊
- ・蔵書印の世界(国立国会図書館) <http://www.ndl.go.jp/zoshoin/index.html>
- ・九州大学蔵書印データベース

http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002STAMP

○くずし字・篆刻

- ・児玉幸多『くずし字用例辞典』東京堂出版 1993
- ・児玉幸多『くずし字解説辞典』東京堂出版 1993
⇒山田奨治,柴山守『くずし字解説用例辞典』東京堂出版 2007(CD版)もあり。
- ・波多野幸彦[他]『くずし字辞典』思文閣出版 2000
- ・電子くずし字字典(東京大学史料編纂所)
<http://www.ap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/shipscontroller>
(東京大学史料編纂所>データベース検索>データベース選択画面)
- ・中西庚南『近代篆刻字典』東京堂出版 1987

(補) レファレンスツールを知る為のツール

- ・日本図書館協会日本の参考図書編集委員会『日本の参考図書』第4版 日本図書館協会 2002
- ・日本図書館協会日本の参考図書編集委員会『日本の参考図書』日本図書館協会 1980
- ・参考図書紹介(国立国会図書館リサーチ・ナビ) <http://rnavi.ndl.go.jp/sanko/>
- ・長澤雅男,石黒祐子『情報源としてのレファレンスブックス』新版 日本図書館協会 2004
- ・伊藤民雄『インターネットで文献探索』2010年版 日本図書館協会 2010
⇒著者運営の図書・雑誌探索ページ(<http://rnavi.info/index.html>)と内容は同一。
- ・人文リンク集(国立国会図書館リサーチ・ナビ)

<http://rnavi.ndl.go.jp/humanities/jinbunlinks.php>

3. 演習問題

1. 「態態」は何と読むか
2. 明治時代の人物「日向靖」に関する情報を調べたい
3. 足立正声^{まさな}の経歴や著作を探したい。特に、『礫室遺草』の所蔵機関について知りたい。
4. 『伊平屋島旧記集』(沖縄の文献、江戸時代のもの)を見たい。
5. 『東北作家』第9号の所蔵機関は
6. 日本の古武道の歴史に関する記事が北条時隣『鹿島志』に掲載されているらしい。それを読みたい。
7. 牧洋(李石薫)『蓬島物語』(1945年 普文社)を読みたい
(参考) レファレンス協同データベース(国立国会図書館) <http://crd.ndl.go.jp/jp/public/>
詳細検索画面で「提供館名」⇒「国立国会図書館」、「管理番号」⇒「D」と入力し検索すると人文課の事例を確認できます。

おわりに